
2007 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシ
ップ開発センター

〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町 93
TEL:075-315-9103
FAX:075-315-9134

事業概要

1 事業の成果と課題

設立趣旨に則り、基本活動をベースに、今年度は、新しい事業をいくつか実施することができた。まずは、アントレプレナーシップの育成で高い評価を得ているフィンランドから講師を招聘し、東京・大阪・京都でセミナーを開催。また、大学と連携してソーシャルアントレプレナーの育成講座も実施することができた。

毎年開催している高校生向け国際イベント「Global Enterprise Challenge」では入賞校が初めて現地での参加を成し遂げた。また、トレードフェア事業では、企業の協賛に加え、京都府の地域力再生プロジェクトに採択され、さらに発展した取り組みにすることができた。

今後、さらに学校へのアントレプレナー教育を普及するとともに、教育活動を支援する体制づくりに努力したい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲 および人数
1. アントレプレナーシップ教育推進事業				
アントレ教育の学校への普及	教育プログラムの活用方法や指導方法についてコンサルティングが資料提供	随時	センター又は各学校現場	約 2,000 名
Global Enterprise Challenge 2007	青少年の科学技術の関心を高めるために課題解決に挑戦する国際イベント	5月31日(国内大会) & 6月22-13日(国際大会)	国内大会:京都テルサ 国際大会:京都府立伏見工業高校	国際参加者全員で 約 200 名
トレードフェア 2007 京都	企業経営教育プログラム参加生徒の発表会の企画・実施	11月18日	私のしごと館	小・中・高校・大学、 企業人、保護者、教職員など約 600 名
産官学交流「京都 EDOS」会	教育の在り方に問題意識を持つ人々が集い、人づくり・まちづくりに積極的に関わっていくための研究・交流会。	3ヶ月に一度 6月22日、 9月9日 12月14日、 3月28日	ひと・まち交流館京都	100 名
研修会	フィンランドセミナー	9月7日～9日	東京、大阪、京都の会場	約 200 人
メールマガジンの発行	センター活動の報告・案内	毎月	メール	毎回約 3000 人
HP による広報	HP などに当センターの活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数
2. 起業家育成講座・カリキュラム開発				
文部科学省委託事業「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業」	同志社大学大学院総合政策科学研究科と社会起業家育成講座「ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム」実施を共同実施	9月～3月末	同志社大学	受講生 20 名

	京都大学経営管理大学院「女性企業家塾」カリキュラム開発支援	8月	京都大学	受講生 10名
研究補助事業	京都教育大学の「起業家精神に富んだ勤労観・職業観を職業体験を通じて中学生に育むための教材開発」研究協力	4月～12月	京都教育大学	約 10名
3受託研修事業				
指導者研修・講演等	起業家教育普及のための指導者研修会	随時	各学校にて	約 1000名
起業家育成講座 KCCI 創業塾第 8 期	地域活性化を目的とした、行政の起業家教育講座の企画・運営の受託業務	6月16日～7月21日	神戸市産業振興センター	受講生 42名
4. その他講師・委員など				
公的機関の委員など	文科省の中教審や京都府のキャリア教育などの委員会出席	随時	各主催者の会場	
大学の講義など	同志社女子大学、追手門学院大学等	随時	大学の講義室	100名

(2)その他事業なし

活動内容

■□アントレプレナー教育普及事業

1) 普及事業

●Global Enterprise Challenge (グローバルエンタープライズチャレンジ) 2007

本イベントは、当センターがスコットランドの行政機関であるキャリアスコットランド(Careers Scotland)との共催で、18歳以下の青少年対象に実施している活動です。日本で実施する国内予選大会と、各国の代表チームが競い合う国際大会とで構成されており、8名以下の高校生で編成されたチームが、1名の起業家のファシリテーターのサポート受け、その場に出された課題解決に挑戦します。課題は、環境や福祉などの既存の社会的問題に関わるもので、参加者は、科学技術などの知識を活用して解決策を事業プランとしてまとめて発表。提案内容は、審査員により、創造性・革新性・実現性・市場性・コミュニケーション能力などの点を総合的に評価され、優秀チームが決定されます。今年度は、5月31日に国内予選、6月22日&23日に開催予定です。

http://www.entreplanet.org/whats_new/GEC2008/index.html

<国内予選> 平成19年6月2日(土) ひと・まち交流館京都

ミッション: バリアフリー商品を開発せよ!

2007年度は、4校5チームが参加し、起業家の皆様の支援のもと課題解決に取り組みました。審査員は、一般企業や大学教員、商工会議所などの方々。審査の結果、京都府立京都すばる高校が日本代表として選ばれました。



みんなでアイデアを出し合います



プレゼン発表の一場面



交流会では社会人の方と名刺を交換

<国際大会> 平成19年6月17日(日) & 18日(月) ウェールズ首都カーディフ

ミッション: 8歳から12歳の世界の子どもたちに、地球人であることを意識させるゲームを創造せよ!

参加国は12カ国(オーストラリア、ニュージーランド、ポーランド、ノルウェー、ドイツ、アメリカ、シンガポール、南アフリカ、イングランド、ウェールズ、スコットランド、日本)から総勢100名が参加。日本代表の京都すばる高等学校生徒さんたちは、見事、審査員賞を受賞して帰国しました。



国際大会では英語でプレゼン



みんな笑顔で記念撮影

報告ページ: http://www.entreplanet.org/whats_new/GEC2007/GEC2007_2.htm

●第7回 バーチャル・カンパニー トレードフェア 2007 京都
～地域のミッション/未来を創造する若者を育てよ～

日 時：平成 19 年 11 月 18 日（日）10:00～17:30

場 所：京都大学百周年時計台記念館

主 催：トレードフェア実行委員会

事務局：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

本イベントは、主として社会的な課題解決をテーマに、新しい製品やサービスを提案、それを扱う仮想企業（バーチャル・カンパニー）を設立・運営する小学生～大学生の成果発表会です。通常は、学校の授業で地元の企業人のアドバイスを得ながら活動し、インターネットの取引等でしか他校と交流できない生徒たちが、この日は京都に集まり、対面販売やプレゼンテーションを行ないます。7 回目の開催となった今年は、全国より小学校から大学まで 28 校 40 チームが集まり、今まで培ったアントレプレナーシップを発揮し成果を競い合いました。そのほか、アントレ教育の先駆的な取組をされている先生からの実践事例紹介やセミナー、起業家の方による講演会を開催し、盛況のうち無事終了しました。



商品を一生懸命アピールしました



みんなで協力してプレゼン発表



懇親会では社会人の方とも積極的に交流



受賞チームへは商品授与！



大人たちもしっかりと学びました



アントレプレナーシップに関する講演会

報告ページ：http://www.entreplanet.org/whats_new/tradefair2007/repo/

3) 指導者研修会

新しい教育を実現するためには、指導者や管理職の方々の能力開発に投資し、リーダーシップ溢れる組織を実現してゆくことが重要です。当センターでは、学校の要望を受け、急速に変化する社会を力強く生き抜いていける子どもたちを育成するため、指導者や管理職に必要とされる知識やスキル習得に向けた、さまざまな研修を行なっています。

- * 平成 19 年 3 月 27 日 指導者研修会「アントレプレナーシップを伸ばす教育とは」
- * 平成 19 年 6 月 1 日 京都教育大学附属京都小学校 6 年生保護者会（ぞくっこくらぶ）主催
「親子ワークショップ ～バリアフリーな社会を創ろう」
- * 平成 19 年 6 月 29 日 長崎県商業経済教育研究協議会:指導者研修会
- * 平成 19 年 8 月 23 日 宇治市立北宇治中学校教員研修会
- * 平成 19 年 10 月 17 日 尾道市立向島中学校教員研修会および公開研究会
- * 平成 20 年 1 月 8 日 松本市教育委員会教員研修会
- * 平成 20 年 2 月 15 日 国立明石工業高等専門学校教員研修会
- * 平成 20 年 3 月 6～19 日 国立明石工業高等専門学校 リーダー育成研修



3 月に行なった教員研修での一場面



グループにわかれて、実際に新規ビジネスの企画ワークショップ。授業実践に生かしたいと、生徒の立場で、アントレ的授業がどのようなものかについて話し合いました。

4) 講演会等

- * 平成 19 年 6 月 12 日 堺市教育委員会教育センター教頭研修会
「今、学校に求められていること-地域、社会とつながる大切さ」
- * 平成 19 年 7 月 17 日 追手門学院大学特別講義
- * 平成 19 年 8 月 4-5 日 大阪商業大学第 10 回企業教育研究会

■□研究・受託事業

1) 研究活動

- * 平成 18 年-20 京都教育大学科学研究補助金事業「起業家精神に富んだ勤労観・職業観を職業体験を通じて中学生に育むための教材開発」

2) 講座開催

- 神戸商工会議所「KCCI 創業塾（第 9 期）～起業家カレッジ」

神戸商工会議所では、平成 19 年 6 月 16 日-7 月 21 日 企業や会社運営に必要な基礎知識を学びながら、それをグループで実践。ビジネスプラン作成だけに終わらない参加型起業講座を行っています。講座を通じて、参加者の方もネットワークを広げ、その後の仕事につなげておられます。

2008 年は 6 月 21 日から開講予定です。

●平成 19 年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業」

- ・同志社大学総合政策大学院と『ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム』を共同でプログラム開発・講座運営を行いました。2008 年は 9 月開催予定です。
平成 19 年 11 月 10 日－平成 20 年 3 月 2 日

<http://sosei-si.doshisha.ac.jp/manabi/>



同志社町屋キャンパス “江湖館” にて

- ・京都大学『再チャレンジのための女性起業家プログラム』カリキュラム開発支援

■□産官学交流「京都 EDOS (えーどず)」会

教育の在り方に問題意識を持つ教員・学生・社会人が産官学の枠を飛び越えて集い、人づくり・まちづくりに積極的にアントレプレナーシップを発揮して関っていくための研究・交流会を定期的で開催しています。

●第 14 回京都 EDOS 会：平成 19 年 6 月 22 日（金）

「～伝統文化に生きる人育てと経営の極意：京都花街の経営学～」

講師：西尾 久美子（神戸大学大学院経営学研究科 COE 研究員 経営学博士）

都の花街は 350 年以上の歴史を持つ伝統文化産業です。そこには、現代少女たちを短期間に「おもてなしのプロ」舞妓に育て上げる人材育成のシステムが存在します。今回は、京都花街のキャリア育成の秘密について、花街文化の基礎知識を交えてご講演いただきました。ただ伝統とひとことにいってしまうのではなく、環境や評価システムなどを含めた経営学の視点からの指摘は、大変興味深いものでした。

<プログラム>

18:30-19:30 講演

19:30-20:30 質疑応答と交流会



●第15回京都 EDOS 会：フィンランドウィーク

「次世代を担う若者に必要な教育とは？～学校がやるべきこと、地域がやるべきこと～」

★ 本セミナーは、初芝学園のご協力により実現しました。

<第一日目>

日 時：平成19年9月7日（金） 14:00-17:00

会 場：ひと・まち交流館京都（京都市河原町五条下る東側）

14:00-14:10 主催者挨拶

14:10-15:30 講演「人に投資する国フィンランドの教育について」

Kaisa Isotalo (Seinajoki 中学校 校長)

15:40-17:00 座談会「体験者達は語る」

Kaisa Isotalo (Seinajoki 中学校校長)

長者善高 (京都市立修学院中学校校長)

橋本雅子 (京都教育大学附属京都中学校副校長)

松本明子 (大阪初芝学園初芝堺中学校教頭)



1979年、「すべての若者が教育的ゴールに達成すること」を目標とされ行われたフィンランドの学校システムにおける大きな改革、それにより発生した問題についてのお話から始まり、1994年アントレプレナー教育がフィンランドのカリキュラムに入り、日本でも注目される成果をあげる現在に至るまでの実践例を、その目的とともにお話いただきました。フィンランドでは、教育的権限のシステム構造も日本と大きく違い、学校独自で決められることも多いそうです。

「アントレプレナーシップ教育は、子どもたちが社会の一員として参加してゆくために必要な能力・資質を育てるための教育。それには子ども自身に責任を持たせることが必要」。イソタロ先生の学校では、地域のショッピングセンターや地元新聞社、福祉協会、他の学校など多くの組織と、共同活動を実践しているそうです。

各学校の先生方から、自校での取り組み、アントレ教育の具体的実践例や成果、今後の展望などについてお話いただきました。指導者自身が学ぶ苦労を経て、「生徒自身が主体的に動くことを前提としたアントレ授業を通し、様々なことに対する積極的姿勢がみられるようになってきた」「地元企業や地域住民が学校の取り組みを認識し始めたため、今後更なる展開が期待できる」。

ご参加いただいた方から、「たいへん参考になった」と好評をいただきながらも、「少し時間が短かった。もっと聴きたかった」との声もあり、アントレプレナーシップ教育への関心の高さや、実践に対する模索の姿勢を伺えました。



<第二日目>

日 時：平成19年9月8日(土) 14:00-17:00

会 場：Esta 虎ノ門 (東京都港区虎ノ門 1-1-21 新虎ノ門実業会館)



14:00-14:10 主催者挨拶

14:10-15:10 講演

「人に投資する国フィンランドの教育について」

Kaisa Isotalo (Seinajoki 中学校校長)

東京会場では企業に所属されている方からの参加が多く、社会全体で若者を育てるフィンランドの教育について、非常に興味をもって聴いていただけました。



15:15-16:30 ざっくばらんな座談会

「地域と連携でアントレプレナーシップを育てる」

Kaisa Isotalo (Seinajoki 中学校 校長)

大嶺せい子 (三鷹市立第二中学校 校長)

兼本雅章 (共愛学園前橋国際大学 准教授)

兼本先生からは学生・生徒が経営するバーチャル・カンパニーで開発した商品が、地元企業との連携による際に商品化されるまでの実例を、大嶺先生からは三鷹市の小中一貫教育の特色、コミュニティスクールの構想と実践についてお話いただきました。地域で一緒に子どもを育てることで、児童・生徒の精神的安定、教師の授業変化等の成果、またより開かれた授業についての課題等、新しい取り組みへのチャレンジをご紹介いただきました。

<第三日目：初芝子育て大学>

日 時：平成19年9月9日(日) 14:00-16:00

場 所：学校法人大阪初芝学園初芝堺中学校 (大阪府堺市西野 194-1)



「子供の能力を伸ばすフィンランドの教育」

Kaisa Isotalo (Seinajoki 中学校校長)

3 日目には、初芝堺中学校にてアントレプレナーシップ教育の実践例と子どもたちにとって本当に必要とされる力について講演いただきました。全体講演のあと、参加型ワークショップを開催し、保護者と教職員が子供たちに対しての大人の役割を同じ目線で考えることができました。

初芝堺中学校では、この後、教員と父兄と一緒に学校のカリキュラム開発のためのワークショップを行い、大変好評でした。

●第16回京都 EDOS 会：平成19年12月14日（金）

「アントレプレナー的思考を育てる教育とは？—身近なネタから社会を見る」

講師：河原 和之（東大阪教育センター 指導主事）

＜プログラム＞

18:30-19:30 講演

19:30-20:30 質疑応答



『教育機関における職業体験活動の多くは、単なるアルバイトやボランティア体験にとどまってしまうことが多い。アントレプレナー的思考を軸とした教育は、それらを単なる「体験」に終わらせるのではなく、社会を垣間見つつ「理想の社会」を自分達が創り出していくことを体感する学習活動です。縦軸にアントレ的思考を、横軸に環境・人権・共生・国際、といった社会課題を重ね合わせて考えれば、今の教育にうまく組み入れることができるはず。』と河原先生。今後、普及の課題となっている、教育システムそのものについて、どのようにアプローチしていくのか、大きな宿題を頂戴しました。

●第17回京都 EDOS 会：平成20年3月28日（金）

「考える能力を高めるユニークな思考ツール—マインドマップ（R）紹介講座—」

講師：内山 雅人 氏（ブザン教育協会理事）

マインドマップ(R)とは、脳でおきたイメージを、白紙の上に中心から放射状にして表現していく能力開発ツール。コンピューターにたとえるなら、個々のソフトウェア的な働きではなく、むしろOS的な働きを有するものです。オープンエンドな発想から生じる内発性や創造性を生み出すとして企業や教育機関、スポーツ協会等でも多数採用されています。

『現在はあらゆるものが飽和状態にある時代。その中で、自分にとって何が必要で何が大切なのかを見極める力、また周囲を取り巻く課題に目を向け、自分なりに答えを作り出す力が求められています。問題を解決できた状態(セントラルイメージ)を中心に思考を整理するマインドマップは、これらの力を導き出すツールです』と内山先生。当センターが目指すアントレプレナーシップ育成の基となる思考法で、たいへん興味深い内容でした。



＜プログラム＞

18:30-20:30

講演&ワークショップ

■□2007年度プレスリリース

- 当センターが支援している学校の取組みが新聞で紹介されました。
記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧ください。

<http://www.entreplanet.org/frames/Fpress2.html>

- * 「起業家教育普及を鹿児島市教委などシンポ」(平成 19 年 02 月 22 日 西日本新聞)
- * K B S 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」生出演(平成 19 年 4 月 16 日、11 月)
- * 「京都すばる高 8 人 企画力 世界に負けない」(平成 19 年 06 月 15 日 読売新聞)
- * 「ビジネスプラン競う国際大会 代表に京都すばる高」(平成 19 年 06 月 15 日 京都新聞)
- * 「国際大会出場の京都すばる高生 企画力で審査員賞」(平成 19 年 06 月 22 日 京都新聞)
- * 「フィンランドウィーク：セミナー参加者募集」(平成 19 年 8 月 20 日 日本教育新聞)
- * 「文部科学省／社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム 京大との共同事業採択」
(平成 19 年 08 月 22 日 京都新聞)
- * 「バーチャル・カンパニー・トレードフェア 2007 京都」(平成 19 年 11 月 19 日 京都新聞)
- * 「バーチャル・カンパニー・トレードフェア 2007 京都 —アイデア商品考え社会を学ぶ」
京都教育大学附属京都小学校・白川小学校 1 面に掲載(平成 19 年 11 月 23 日 朝日小学生新聞)
- * 「バーチャル・カンパニー・トレードフェア 2007 京都 —繭美蚕・前橋国際大が 2 冠」
(平成 19 年 11 月 23 日 上毛新聞)
- * 「バーチャル・カンパニー・トレードフェア 2007 京都 —前橋国際大が 3 連覇」
(平成 19 年 12 月 20 日 ぐんま経済新聞)
- * 「中学教員ら 起業家精神教育学ぶ」(平成 20 年 1 月 10 日信濃毎日新聞)
- * 「温暖化問題解決策考える アントレプレナー教職員が体験研究会」(平成 20 年 1 月 10 日市民タイムス)
- * 「明石高専『住みよい社会』共に探る」(平成 20 年 03 月 21 日神戸新聞)

■□その他

- バーチャル・カンパニー参加校／京都市立伏見工業高等学校「伏見～る商店」チーム 香港トレードフェアに参加し見事 2 位入賞しました！

日 時：平成 19 年 3 月 17 日(土)

場 所：Hong Kong Institute of Vocational Education

バーチャル・カンパニーの提携ネットワークである Hong Kong Network of Virtual Enterprises (HKNVE) が主催する香港の国際イベント「Tourism Competition」が 3 月 17 日(土)に開催されました。2006 年 11 月開催イベント「トレードフェア 2006」で英語部門「国際ビジネス賞」を受賞し、本イベントへの参加権を手にした京都市立伏見工業高等学校 3 年生(2006 年度卒業生)「伏見～る商店」の生徒さんが香港へ行き挑戦し、見事 2 位入賞を果たしました。当日は、旅行を企画するという課題のもと参加チームが事業アイデアを競い合いました。



次々とやってくる来場者や審査員の方々に対して、伏見エリアの魅力的なツアー企画のプロモーション活動を実施。

- 前橋国際大学：バーチャル・カンパニーの提案が商品化！

バーチャル・カンパニー「八百米」と支援企業の大黒食品工業から共同開発した「冷しシリーズ」のカップ麺が平成 19 年 4 月 6 日に発売されました！また、バーチャル・カンパニー『繭美蚕』が支援企業の門倉メリヤス株式会社(前橋市日吉町)と考案した『シルクウォッチバンド』が平成 20 年 3 月 1 日より直販店「ヴィオレッタ」(前橋市日吉町)にて販売開始されました。